

第1回 江山地区義務教育学校設立準備委員会（すごい学校創造部会）概要について

1 日 時 平成30年9月11日（火） 19時 ～ 20時30分

2 会 場 神戸小学校 図書室

3 出席者 【委員】
すごい学校創造部会員9名
【教育委員会事務局（教育総務課・学校教育課）】
職員2名

4 議 事

(1) 今後のスケジュールについて

- ・現段階では、スケジュール表にある項目について検討を進める。
- ・具体的な教育課程の検討については、H31 からとなっているが、今年度中に検討を始める必要がある。特に、ブロック制については早く決定するようにする。
- ・総合的な学習、特別活動、人権教育についても早めの検討が必要ではないか。
- ・小中一貫校のカリキュラムについて、まずその内容を勉強する必要がある。他校の取組も含めて情報提供をお願いしたい。

(2) めざす子ども像と小中一貫教育ビジョンについて

- ・現在の江山校区の3校のめざす子ども像と中学校区のグランドデザインを確認した後、江山の子どもたちの「さらに伸ばしていきたいところ」「課題ではないかと感じる場所」について近くの委員と話し合った。そして、その話し合いを通して一人一人が考えたことを出し合っていた。また、「なぜそのような課題があるのか」「その課題を克服するためにどのような取り組みが必要か」など、今後行っていきたい教育の在り方について意見交換を行った。（別紙のとおり）
- ・9月25日の全体の委員会の中で、部会での意見を部会長が報告する。
- ・委員会後に学校関係者（部会委員を中心に）で、めざす子ども像や小中一貫教育ビジョン等について原案を検討し、次回部会に提案する予定。

5 その他

- ・副部会長に江山中学校教頭を選出。
- ・次回の部会を、10月11日（木）19:00～20:30 神戸小学校で開催。

<別紙>

めざす子ども像と小中一貫教育ビジョンについて

【江山の子のこんなところを伸ばしたい】

- ・心優しく純粋なところ。
- ・地域の行事に参加している子ども、地域のことに関心が高い子どもが多く、地域のことが大好きである。

【江山の子にこんな力をつけてやりたい】

- ・改まった場所では緊張するので、自分の考えを大勢の場でも自信を持って発表できるようになってほしい。
- ・挨拶の声が小さい。学校ではあいさつができて、学校外でできないことが多い。どこでも、誰にでも元気よくあいさつすることができるようにしたい。
- ・自分に自信がない子どもが多いので、自尊心・自己肯定感を高めるとともに、自信を持ち目標に向かってチャレンジする子に育ててほしい。
- ・地域を大切に、ふるさとを愛する子に育ててほしい。
- ・課題に対しても、困難なことに対しても前向きにぶつかっていく子を育てたい。
- ・目標を持ち、主体的に学ぶ子を育てていきたい。
- ・思いやりのある子、人を大切にする子、気配りのできる子を育てていきたい。

【江山の子にこんな教育をしてやりたい】

- ・ふるさとの伝統を引き継ぐような取組をしていきたい。
- ・自信や夢を持ち、活力ある子を育てるために、様々な体験ができるようにし、子ども同士がぶつかり合うような切磋琢磨できるような環境づくり・教育をしたい。
- ・経験の少なさが、自信のなさにつながっているのではないか。学級集団以外のところでも、様々な人と関わる取組・活動をし、新たな自己発見から自己肯定感の高まりにつなげるようにしたい。
- ・自分が子どものころは、外によく出ていた。自然豊かな環境を活かしたいろいろな体験活動が必要ではないか。
- ・手本となるモデルが少ないのではないか。中学生がよいモデルになるような小中一貫教育を行っていきたい。
- ・叱ってくれる大人がいることで、大人に守られていると感じるのではないかと思う。地域・保護者・子どもがつながって、大人総がかりで江山の子どもを育てる取組をしていきたい。
- ・固定された人間関係で伝えなくても伝わる関係になりがちである。言葉できちんと伝えるスキルもつけさせなければいけないと思う。